今月の表紙



令和７年の津まつりファイナルステージを広報課で撮影。どのチームも熱気あふれる演舞を披露し、写真選びはうれしい悩みの連続でした。そんな中から選んだのは、躍動感あふれる、よさこいチームの一枚。今年の津まつりも、皆さんで熱く盛り上がりましょう！詳しくは６ページの特集をご覧ください。

撮影の様子を津市行政チャンネル〔まるっと津ガイド〕のコーナー「ワンシーン」で紹介しています。ケーブルテレビ 123ch または YouTube でご覧ください。

人口と世帯数
（2026年８月１日現在）

		前月比
世帯	130,040世帯	（＋23世帯）
人口	264,984人	（－87人）
男	129,123人	
女	135,861人	

市政へのご意見・ご要望

地域連携課
〒514-8611
津市西丸之内23-1
☎229-3105 FAX229-3366
info@city.tsu.lg.jp

津市の情報はこちらから

- 津市公式ウェブサイト
- 津市公式LINE
- ボートレース津 レース開催情報
- YouTube 行政情報チャンネル
- Facebook 津市シティプロモーション情報
- 防災情報メール 防災メールの登録
- マチイロ 広報津アプリ
- Meetsu！ シティプロモーション特設サイト
- ごみ分別ガイドブック

津市長のメッセージ

Mayor's Message

農業を未来へつなぐ、現場の声から生まれた独自の支援



津市長　前葉　泰幸

津市の農業振興において最も大切にしているのは、農業者の皆様の生の声に耳を傾け、一人一人が抱えておられる課題に寄り添いながら、津市の農業の実情に合った支援につなげていくことです。

農業政策の根幹となる制度や大きな方向性は国が示すものですが、地域ごとに異なる課題や、現場ならではの細かなニーズに対しては、既存の制度だけでは十分に対応できない場合があります。農業者の皆様から届くご意見への解決策として、津市では、これまで独自の政策を創設してきました。例えば、深刻な課題であった鳥獣害については、防護柵の整備や個体数調整などに毎年８千万円ほどの予算を投じてきています。

現場の声を施策につなげる場が「令和版営農会議」であり、12地域で真剣な議論が交わされています。農業者の高齢化や深刻な後継者不足により、とりわけ条件の不利な農地を中心に耕作放棄地がさらに増えてしまうという切実な課題が浮き彫りになりました。耕作放棄地の増加を防ぎ、営農を続けていくための津市独自の８つの支援メニューは、ここでの議論から生まれました。

津市の豊かな自然と食を支える農業は、未来へ受け継ぐべき大切な財産です。これからも農業者の皆様との対話を大切にしながら、農業を次の世代へつないでまいります。

動画でも配信中！
津市長に聞く！津市の今

P3 特集をCHECK!